

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

| | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------|----------------|---------|
| 事業番号・事業名 | 165 | スポーツツーリズム戦略推進事業 | 新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章） | 3-(9)-ア-① | | | |
| 担当部課名 | 文化観光スポーツ部 | スポーツ振興課 | 事業実施（予定）年度 H24～R13 年度 | 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-（1） | | | |
| 事業内容 | スポーツを通じた観光誘客を推進するため、スポーツイベントの創出支援、スポーツ旅行に係るプロモーション、プロ野球キャンプ・サッカーキャンプに係る情報発信、スポーツコンベンションに係る問い合わせ対応、スポーツコンベンションの誘致等、サイクルツーリズムの推進を図る。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度） | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | | | | | |
| 予算額・執行額【単位：千円】 | | R4年度 | R4年度（繰越） | R5年度 | R5年度（繰越） | R6年度 | |
| | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 261,624 | | 263,766 | | 247,349 |
| | | (b) 予算現額 | 261,624 | | 263,766 | | 247,349 |
| | | (c) 増減額 (b-a) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | (d) 前年度繰越額 | | | | | |
| | | A. 計 (b+d) | 261,624 | 0 | 263,766 | 0 | 247,349 |
| | | B. 執行済額 | 209,299 | | 251,255 | | 246,222 |
| | | うち交付金充当額 | 198,296 | | 197,209 | | 196,978 |
| | | C. 次年度繰越額 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 執行率 (%) (B/A) | 80.0% | | 95.3% | | 99.5% |
| | 予算の状況の説明 | 執行率は99.5%であり、計画的に執行できた。 | | | | | |
| 活動目標（指標）及び進捗状況 | R6活動目標（指標） | | 進捗状況 | | | | |
| | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | |
| | ①スポーツイベントの創出及び定着化支援 | 目標 | 6件 | 4件 | 4件 | 4件 | |
| | | 実績 | 5件 | 4件 | 4件 | 4件 | |
| | ②プロモーション実施件数 | 目標 | 26件 | 26件 | 35件 | 30件 | |
| | | 実績 | 53件 | 57件 | 52件 | 36件 | |
| | ③プロ野球キャンプ等の受入市町村等と連携した活動 | 目標 | 連携した活動 | 連携した活動 | 連携した活動 | 連携した活動 | |
| | | 実績 | 連携した活動の実施 | 連携した活動の実施 | 連携した活動の実施 | 連携した活動の実施 | |
| | ④県内スポーツコンベンション相談件数 | 目標 | 210件 | 210件 | 210件 | 210件 | |
| | | 実績 | 123件 | 223件 | 248件 | 241件 | |
| | ⑤国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿の誘致 | 目標 | 誘致活動 | 誘致活動 | 誘致活動 | 誘致活動 | |
| | | 実績 | 誘致活動の実施 | 誘致活動の実施 | 誘致活動の実施 | 誘致活動の実施 | |
| | ⑥関係機関と連携したサッカーキャンプ誘致活動の実施 | 目標 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | |
| | | 実績 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | 誘致活動実施 | |
| | ⑦観光客増加に係る取組の実施 | 目標 | 観光客増加に向けた取組の実施 | 観光客増加に向けた取組の実施 | 観光客増加に向けた取組の実施 | 観光客増加に向けた取組の実施 | |
| 実績 | | キャンプ地情報の発信 | キャンプ地情報の発信 | コロナ禍により非公開 | キャンプ地情報の発信 | | |
| ⑧調査報告書の作成 | 目標 | | | | 作成 | | |
| | 実績 | | | | 作成 | | |
| ⑨サイクルツーリズム推進協議会（仮称）の開催 | 目標 | | | | 開催 | | |
| | 実績 | | | | 開催 | | |
| 進捗状況説明 | <p>①新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化が図られるよう、補助率を調整して、スポーツイベントの支援を行った。また、事業者の稼働力を向上させるため、本体イベントに付帯する事業についても支援を行った。</p> <p>②テレビ、雑誌などのメディア、スポーツチーム、WEB等を活用したプロモーションを実施するとともに、県内のランニング、サイクリングコースの紹介やゴルフ場の情報など、通年で楽しめる沖縄のスポーツ環境のプロモーションを展開した。目標を上回る36件のプロモーションを実施し、スポーツを通じた観光誘客の推進が図られた。</p> <p>③「ラグザス 侍ジャパンシリーズ2024」や「名古屋まつり」を活用したプロモーション、Webサイトやガイドブック等の配布による情報発信、県内ラジオを活用した受入市町村の現地情報発信、キャンプ地周遊を促すスタンプラリー等の取組みを実施。</p> <p>④誘致のためHPやSNSでの合宿PRも行っており、スポーツ合宿の需要も高まっていることから、目標件数を達成することができた。</p> <p>⑤スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘14件およびスポーツ団体合宿実証12件を行った。</p> <p>⑥⑦サッカーキャンプ誘致活動を実施した。市町村及び関係団体とサッカーキャンプの受入について、意見交換会を開催し、誘致活動を円滑に実施することができた。</p> <p>⑧⑨官民連携の協議会として「おきなわサイクルツーリズム推進協議会」を設置し、3回にわたって開催した。協議会での議論を踏まえ、今後のサイクルツーリズムの推進に係る調査報告書（基本構想及びアクションプラン）を策定した。</p> | | | | | | |

| R6成果目標(指標) | 目標/実績 | 基準値 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 目標値 |
|--|--|--------|---------|---------|----------------|----------|
| | | (〇〇年度) | | | | (〇〇年度) |
| ①スポーツイベント支援事業によるイベント参加者数 | 目標 | | 6,200人 | 6,200人 | 1,100人 | |
| | 実績 | | 700人 | 3,674人 | 12,575人 | |
| ②スポーツコンベンション参加者数(県外、海外) | 目標 | 1.1万人 | 2.5万人 | 4.0万人 | 5.4万人 | |
| | 実績 | | 4.7万人 | 5.2万人 | 7.4万人 | |
| ③プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数 | 目標 | — | 83,000人 | 88,700人 | 94,400人 | 130,000人 |
| | 実績 | — | 49,000人 | 98,000人 | 120,000人 | |
| ④競技連盟(各国代表クラス)の合宿数 令和6年度31件(うち日本21件、日本以外10件) | 目標 | 29件 | 29件 | 30件 | 33件 | 33件 |
| | 実績 | 20件 | 33件 | 29件 | 21件 | |
| ⑤スポーツキーパーソン招聘や合宿実証等に取り組んだ団体のうち定着件数 | 目標 | 2件 | 2件 | 2件 | 2件 | 20件 |
| | 実績 | 2件 | 2件 | 3件 | 2件 (R8.1時点) | |
| ⑥プロサッカーキャンプを目的とした観光客数 | 目標 | — | 17,185人 | 17,185人 | 17,185人 | |
| | 実績 | — | 7,007人 | 6,188人 | 14,600人 | |
| ⑦サッカーキャンプ件数 | 目標 | — | 28件 | 28件 | 28件 | |
| | 実績 | — | 24件 | 27件 | 25件 | |
| ⑧100km以上のサイクリングルート(1ルート) | 目標 | | | | 選定 | |
| | 実績 | | | | 選定 | |
| 達成状況説明 | <p>①定着支援等により認知が向上した事業が増えたことから、目標を達成することができた。</p> <p>②R6年度は確定値で74,562人(観戦客含まず)となっており、コロナ禍前のR元年度(88,586人)に対して、84.1%まで回復している。このうち、県外参加者は68,822人と、R元年度(83,717人)に対して82.2%、海外参加者は5,740人と、R元年度(4,869人)に対して117.8%となっている。引き続き、効果的なプロモーションの実施に取り組み、早期にコロナ禍前の実績を回復できるよう努める。</p> <p>③本事業において昨年度も取り組んだキャンプ地周遊促進のスタンプラリーの参加者が前年比145%となり、過去最高となった昨年度の県外観光客数を超える120,000人となった。</p> <p>④合宿件数は堅調に推移しているが、合宿の開催が冬季(1~3月)に集中しており、合宿が通年で各地での開催となるようPRや誘致に取り組む必要がある。</p> <p>⑤スポーツコンベンション誘致広報活動にあわせ、スポーツキーパーソン招聘14件およびスポーツ団体合宿実証12件に取り組んだ。令和6年度に事業活用した団体が次年度以降も合宿を継続した場合、定着件数としてカウントする。</p> <p>⑥⑦プロサッカーキャンプを目的とした観光客数は14,600人であった。引き続き、目標値である17,185人を達成するため、市町村と連携し、トレーニング並びにトレーニングマッチの公開日程を増やすようキャンプを実施するクラブへ働きかける。件数としては、プロサッカーキャンプ件数は20件、アマチュアサッカーキャンプ件数は5件となった。</p> <p>⑧沖縄本島を1周するルート(約370km)をサイクリングルートとして選定した。</p> | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|--|---|
| | <p>①新規スポーツイベントの認知度向上に向け、運営体制の強化を図り、効果的な周知広報・集客を行う必要がある。また定着枠で支援しているイベントについても自走化へむけた収益の確保が課題となっている。</p> <p>②スポーツツーリズムの更なる発展のため、リピーター獲得やターゲット層への効果的なプロモーション戦略の展開を図るため、ターゲット層を明確化し、魅力的なコンテンツ開発や効果的なマーケティング戦略を立案する必要がある。</p> <p>③来訪者のキャンプ地における消費額増加をさらに推進するため、来訪者の満足度向上と消費額拡大を図る取組が必要である。</p> <p>④スポーツアイランド沖縄のブランド浸透に伴い、国内のみならず、海外チームの合宿需要も高まり、相談内容が多様化している。</p> <p>⑤スポーツアイランド沖縄の形成に向けた取組により冬季の沖縄キャンプはプロ野球やJリーグキャンプで盛り上がりを見せているが、使用施設がほぼ埋まっていることから、誘致競技の多様化や時期の分散を図る必要がある。同時期の新たな競技のキャンプ集積が難しくなっている。また、冬季以外や気候の恩恵を受けにくい室内競技では、物価高騰の昨今において、キャンプ地沖縄のブランドが低下することも懸念される。</p> <p>⑥⑦チームの意向により、トレーニングやトレーニングマッチ(練習試合)の非公開日程が増加傾向にあるため、貴重な観光資源であるサッカーキャンプの魅力十分にアピールできない状況となっている。</p> <p>⑧基本構想及びアクションプランに基づく取組を推進するためには、国、市町村、業界団体、民間事業者等、多様な実施主体の連携が必要となる。また、自転車の走行環境や受入環境の整備にあたっては、県民にとっても安心・安全・快適な環境となるよう取組む必要がある。</p> | <p>①採択事業者に対しては、アドバイザーによる助言を行い、集客力強化に向けた効果的な広報戦略の策定を支援し、イベントの認知度向上を図る。また、参加者満足度向上のためのコンテンツ充実や運営効率化を図り、イベントの収益力向上を図る必要がある。</p> <p>②旅行への関心は高いがスポーツの関心が低い層へプロモーションを実施したが、当該層はスポーツをきっかけとして来沖する効果が、当初想定より高くないことが確認されたため、より効果的なターゲット層を検討する。また、県内スポーツチームを活用し、県外でPR等を行い、地域イメージの向上につなげる。</p> <p>③県産品とのコラボ商品開発など来訪者のさらなる来訪意欲促進に繋がる取組を実施する必要がある。</p> <p>④多言語対応を含めた受入環境のさらなる整備を行う必要がある。</p> <p>⑤本県のスポーツ資源を活かした多様な競技を誘致する。合宿実施による受入市町村への効果として、経済効果に加え、合宿チームとの地域交流を通して、子ども達のキャリア形成やシニアコミュニティの活性化等の社会的効果も注目されるようになっている。</p> <p>⑥⑦チームの意向を尊重しつつも、関係者とトレーニング及びトレーニングマッチの非公開日程の減少に向けて関係機関が連携し対応する必要がある。公開日程等は早期に情報発信する等の対策を行い、観光客の誘致と同キャンプの認知度向上を図る。</p> <p>⑧今年度開催した官民連携の協議会で、取組の段階に応じて、市町村、民間事業者等にも参加いただき、実施主体が円滑に連携できるよう取り組む。また、国、県、市町村の担当部局等と連携し、県民、観光客双方にとって安心・安全・快適な環境整備に取り組む。</p> |

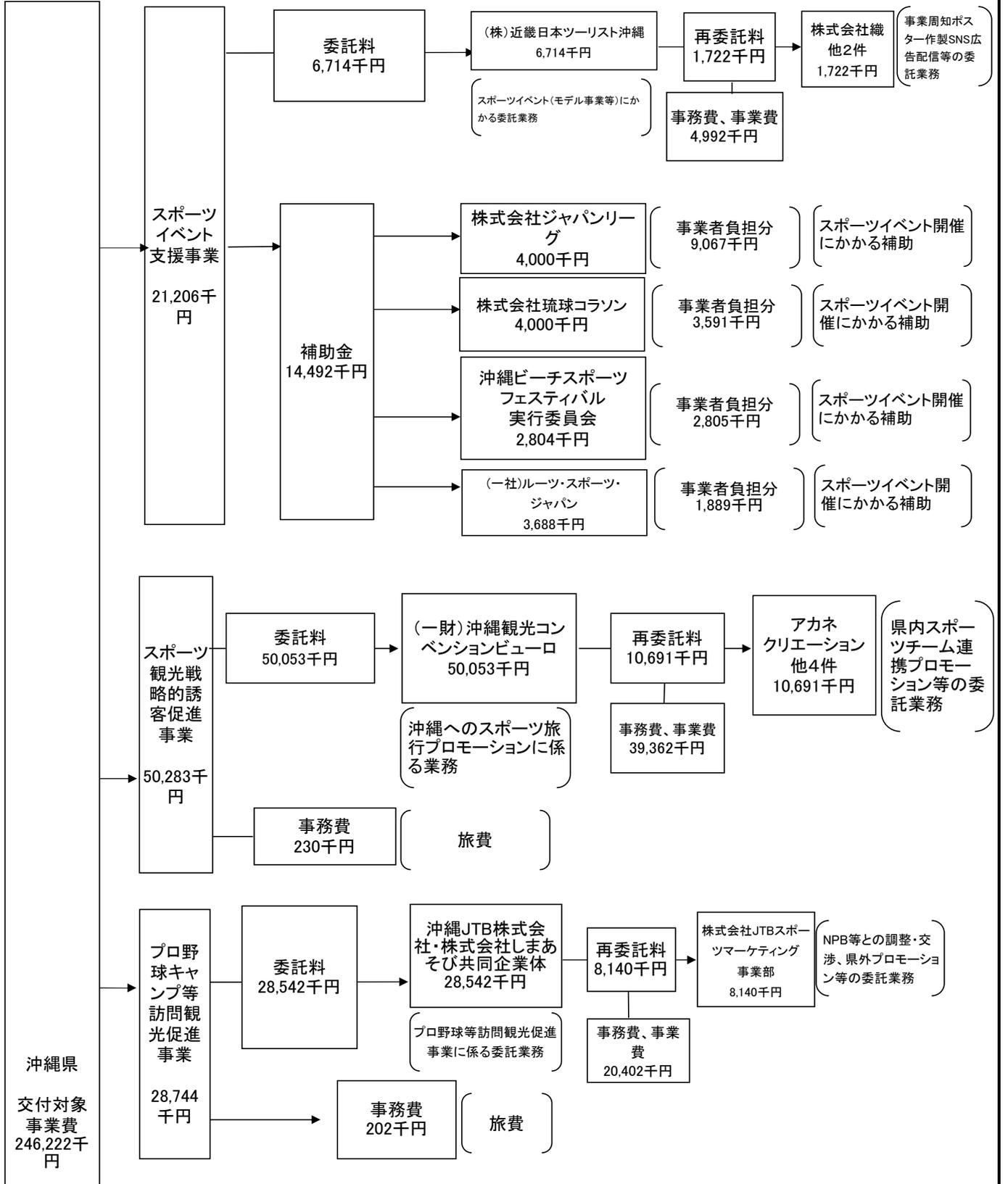
今後の取り組み方針

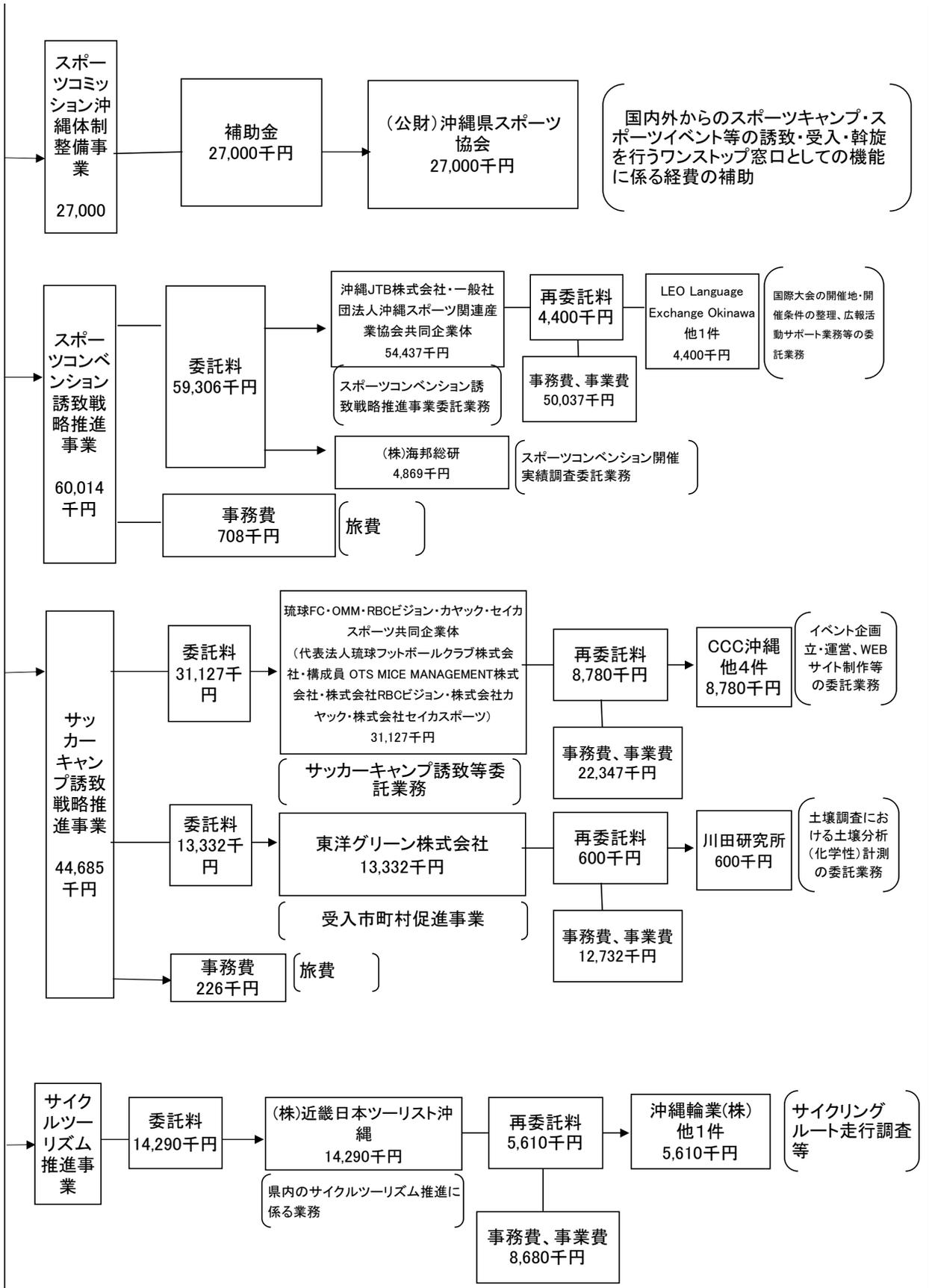
- ①採択事業者に対し、安定的な収入獲得に向けた事業計画策定や効果的なプロモーション方法等の助言を行い、事業の定着化・自走化を図る。また、スポーツイベント情報を扱うWebサイトやスポーツコミッション沖縄など、県内外の関連機関との連携を強化し、イベントの認知度向上と集客力強化を図る。
- ②旅行への関心が低い層がスポーツの関心が高い層をターゲットにプロモーションを実施し、スポーツ観光の誘客促進を図る。また、県内に拠点を置くスポーツチームと連携した誘客促進プロモーションを県外で展開することにより、アウェー(沖縄)観戦をフックとしたスポーツツーリズムの需要拡大を図る。
- ③県内の異なる産業との連携による特産品コラボグッズの開発を支援するなどして、来訪者の満足度向上と経済効果のさらなる拡大に取り組む。
- ④国内外の多様化するニーズの問い合わせにも対応するため、施設管理者、宿泊施設及び市町村との連携を強化するとともに、多言語での情報発信などに取り組む。
- ⑤スポーツコンベンション誘致の効果として、経済効果＋社会的効果＋交流人口増加を狙う。具体的には、プロ・アマ問わず、地域交流に積極的な団体を誘致し、地域交流対象者も当該競技者のみではなく、幅広く住民を対象にし、自治体の意向も踏まえた地域課題に沿った交流メニューを検討する。
- ⑥⑦トレーニング及びトレーニングマッチの非公開日程の減少に向け日程の公開について、事務局と連携しキャンプ実施クラブと早期の調整を検討し、カップ戦や公開トレーニングマッチ等の開催を市町村と連携しながらキャンプ実施クラブに対して働きかけを行う。また、公開日程については、早期に情報発信を行う。
- ⑧協議会での協議を経て策定した基本構想及びアクションプランに基づきサイクルツーリズムを推進する。特に、選定したサイクリングルート(沖縄本島を1周するルート)のナショナルサイクリングルート指定に向けた取組の推進を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | うち交付金充当額 | うち県負担金 | うち市町村負担金 | その他 | 交付対象外経費 |
|---------|---------|----------|--------|----------|-----|---------|
| 263,574 | 246,222 | 196,978 | 49,244 | 0 | 0 | 17,352 |





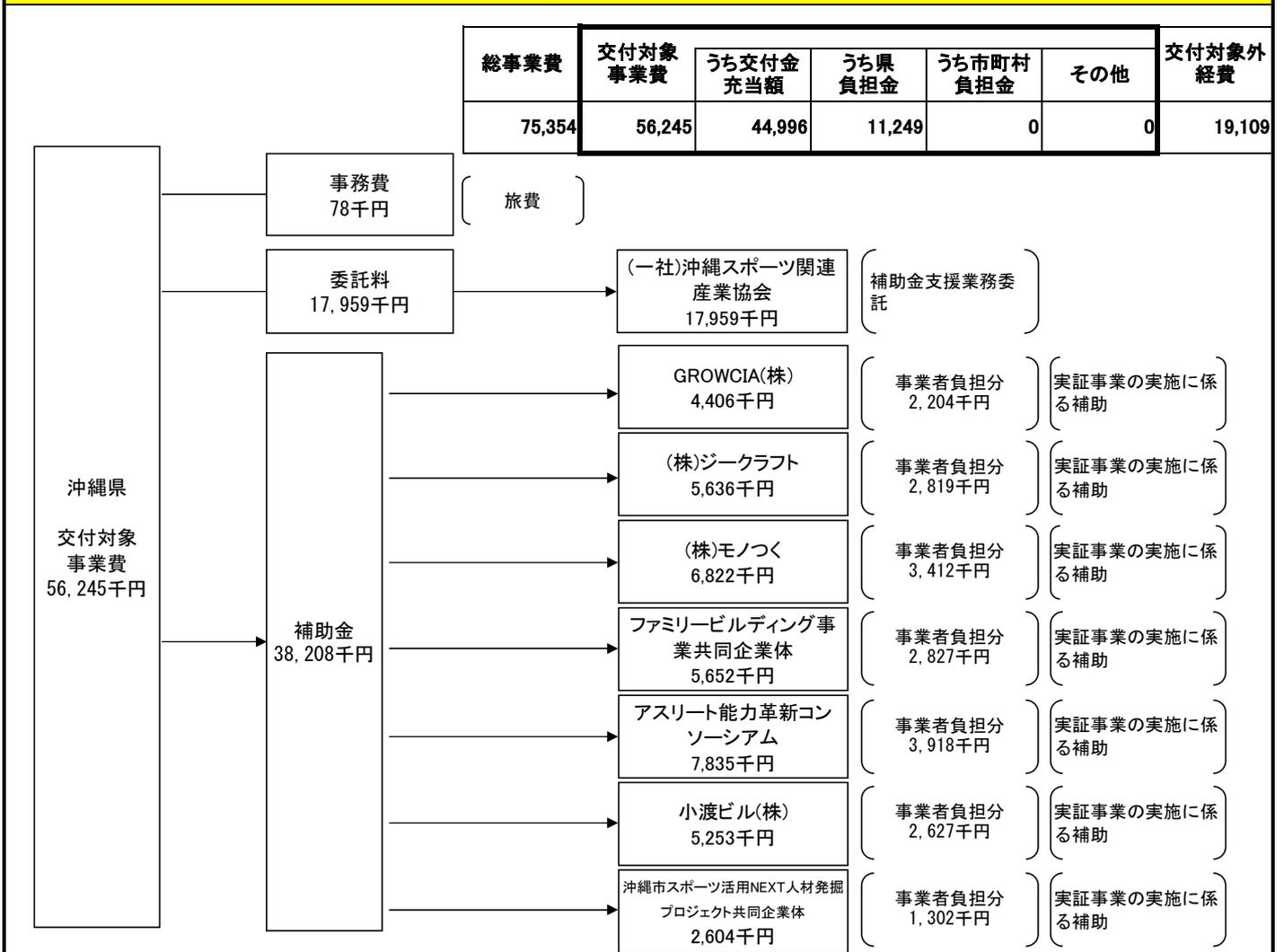
| 資金の 使途の 流れ、 評価 ・ 費目 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|------------------------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当である。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○補助事業者は有識者等による審査委員会により実施体制、事業内容等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○受益者(補助事業者)は総事業費の3分の1又は2分の1を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途については額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|---|---|----------------------------------|---------------------------|------------------|---------------|--------|----------|---|------|---------|
| 事業番号・事業名 | 166 | スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業 | | 新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章) | 3-(9)-ア-② | | | | | | | |
| | | | | | スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開 | | | | | | | |
| 担当部署名 | 文化観光スポーツ部 | スポーツ振興課 | 事業実施 (予定)年度 | R4~R13 | 年度 | 沖縄振興基本方針 該当箇所 | Ⅲ-1-(4) | | | | | |
| 事業内容 | スポーツ関連産業の振興を図るため、スポーツと各種産業の連携による事業に対して、補助金を交付し、新たなビジネスモデルの創出や付加価値の向上を促す。 | | | | | | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 | 予算 の 状況 | (a) 当初予算額 | R4年度 | 65,669 | R4年度(繰越) | | R5年度 | 67,592 | R5年度(繰越) | | R6年度 | 66,000 |
| | | (b) 予算現額 | | 65,669 | | | | 67,592 | | | | 63,428 |
| | | (c) 増減額(b-a) | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | ▲ 2,572 |
| | | (d) 前年度繰越額 | | | | | | | | | | |
| | | A. 計(b+d) | | 65,669 | | 0 | | 67,592 | | 0 | | 63,428 |
| | B. 執行済額 | | | 62,039 | | | | 55,187 | | | | 56,245 |
| | うち交付金充当額 | | | 49,631 | | | | 44,150 | | | | 44,996 |
| | C. 次年度繰越額 | | | | | | | 0 | | 0 | | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | | 94.5% | | | | 81.6% | | | | 88.7% |
| | 予算の状況の説明 | | 7,183千円の予算残額が生じており、主な内訳は補助金6,720千円(執行率85.0%)、委託料等463千円(執行率97.5%)となっている。 要因としては、補助事業で予定していたサービス開発等に係る直接人件費を当初見込みより削減できたことやモニター実施回数を当初見込みより削減できたことなど、事業費の精算による減となっている。 | | | | | | | | | |
| 活動目標 (指標) 及び進捗状況 | R6活動目標(指標) | | 進捗状況 | | | | | | | | | |
| | | | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | | | | | |
| | 支援件数 | | 目標 | | 5件 | 5件 | 5件 | | | | | |
| | | | 実績 | | 7件 | 8件 | 7件 | | | | | |
| 進捗 状況 説明 | 関係機関を通じた広報物の配布、HP、事業説明会の開催等により提案募集を行い、20件の応募があった。審査委員会での審査の結果、このうち7件を支援した。冬場(閑散期)のビーチを活用した団体旅行プログラム開発や県産食材を活用した女性アスリート向け商品開発など、新たなサービスや商品の創出を促すことができた。 | | | | | | | | | | | |
| 成果目標 (指標) 及び達成状況 | R6成果目標(指標) | | 基準値 (〇〇年度) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 目標値 (〇〇年度) | | | | | |
| | スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数 | | 目標 | 40件 | 62件 | 75件 | | | | | | |
| | | | 実績 | 44件 | 61件 | 72件 | | | | | | |
| | 達成 状況 説明 | 目標値の75件に対して実績は72件、達成率は96.0%となっており、概ね達成している。各種施策の実施によるほか、民間法人においてもマッチングの機会創出に取り組んでおり、進捗につながっている。 | | | | | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 補助事業者によって事業実施に向けた準備(予算積算等)に差があり、事業着手に時間を要してしまうことがある。 事務局には、事業者の経営スキル、課題等に応じて多様な支援が求められる。 質の高い事業を創出していくためには、スポーツと他産業の連携に対する理解を高めていくことが必要となる。 | <ul style="list-style-type: none"> WEBエントリーなどを活用し選定フローを効率化するとともに、応募申請時点における提出書類の精度を高め、すみやかな事業着手につなげる。 異なるスキルを持つ人員を事務局に複数人配置し、事業者の状況に応じた支援につなげる。 実際にスポーツビジネスで活躍する講師をお招きしたセミナーを開催するなど、スポーツ業界だけにとどまらない、スポーツと他産業の連携による取組例の周知を図る。 |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <p>広報物や事前説明会などにおける周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内外の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取組む。</p> | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



| 資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|------------------------------------|----|--------------------------------|--|
| 資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価 | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○ 委託事業者は企画提案により実績、実施体制、事業内容等を提案した上で選定しており、妥当であった。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○ 補助事業者は有識者等による審査委員会により実施体制、事業内容等を提案した上で選定しており、妥当であった。 |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ 受益者(補助事業者)は総事業費の3分の1を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ 費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |